

## 授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

---

**テーマ** : 企業・業界研究のための経済記事・企業記事の読み方  
**授業特別協力者名** : 山野 茂樹 氏  
**実施日時** : 2021年6月10日(木)4時限  
**担当教員名** : 伊藤 恵子  
**授業科目名** : 演習 I  
**実施場所** : オンライン教室  
**履修者数** : 6名

### 実施結果

日本経済新聞社・販売ユニット・マーケット営業部の山野茂樹氏をゲストスピーカーにお招きし、新聞を通して、各業界の課題や企業戦略についてさまざまな視点から理解する「読み方」などを説明していただいた。同じトピックに関するニュースを時系列で追いながら読んで流れを知るという読み方と、同じトピックを異なる企業や業界の視点から横断的に伝えるニュースを読んで多角的に理解するという読み方である。日本経済新聞の記事の特徴は、世の中のトピックを「ビジネスの視点」から捉えて分析していることであり、こうした記事を読むことによって、社会の動きと「関心ある業界」との関係についての理解が深まる。また、単なるニュース記事だけでなく、そのニュースの背景を理解するための関連記事や読み物記事の活用、株価や企業業績記事を通じた企業評価などについても説明していただいた。

日本経済新聞の構成は、まず1面では多くの人が関心を持つマクロ的な記事から始まり、政治や経済に関する総合的な記事、国際的なニュース、さらに個々の企業に関するミクロ的な記事へと続く。日経新聞記事の特徴として、個々の企業のニュース記事にも、当該企業の関連する業界全体やライバル他社の動向についても触れられているケースが多く、「個々の企業の記事から業界の動向を読む」ことも日経新聞の読み方のポイントの一つであると教えていただいた。

そして、新聞記事の中に、大学の経済・経営系科目の授業でも学修する専門用語の解説なども多く載っていることも紹介していただき、授業で学修したことと時事ニュースや現実の経済・業界の動きとを関連づけて理解することにも新聞が役立つことを示していただいた。

また、日経電子版の機能や利用法に関連して、自分の関心のある業界や企業名やキーワードを登録しておくことにより、関連記事を検索・収集することができ、業界や企業の研究において有益な情報を簡単に収集できることも教えていただいた。

今後、ゼミナールでのグループ研究や各自の卒業論文などの研究テーマを見つける上で、こうした新聞の読み方が非常に役立つと思われる。また、新聞記事の中にグラフや表などの視覚的な情報も多く含まれており、そうした記事に常に触れておくことが、プレゼンテーションや論文執筆のスキル向上にも大いに役に立つ。新聞を活用して、業界や企業の課題や戦略を深く理解していく訓練を重ねることにより、ゼミナールにおいてもより大きな研究成果をあげることができると期待される。